

January  
た よ

vol.7

皆様の暮らしに安心と活力をお届けする情報紙

# くりーんぱーく便り

株式会社門前クリーンパーク 輪島市門前町剣地口1番地 TEL. &amp; FAX.0768-45-1820

**謹んで新年の御慶びを申し上げます**

皆様方におかれましては、清々しい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は関係各位の皆様方に色々とご支援ご鞭撻を賜りましたこと、心より感謝とお礼を申し上げます。

さて、私ども株式会社門前クリーンパークは、地元からの要望をお受けする中で、「管理型廃棄物最終処分場」の事業化のための会社として設立され、早3回目の新年を迎えることとなりました。この間、近隣地区での説明会などを通じて、皆様方からのご理解をいただけるように活動してまいりました。昨年4月16日には輪島市、志賀町および石川県のご検討を経て「環境アセス方法書に関する知事意見」をいただきました。現在はその意見書を踏まえて、各専門家のご指導をいただきながら、本格的に環境影響調査を行っている段階にあります。

本年も引き続き、調査を進め、安心・安全な処分場の建設に向けて着実な歩みを進めてまいる所存です。これまで通り誠心誠意の努力と、地域へ貢献する環境事業への情熱をもつて取組むことで、必ずや事業を実現できると確信しております。今後とも関係する皆様方のご意見、ご理解をしておりま

す。十分に賜った上で、地域共生型のモデル事業として実現してまいりたく存じます。

最後に、伝統ある輪島市及び志賀町の発展・振興を心よりお祈り申し上げるとともに、私どもも地元企業の一員として、微力ながら貢献させていただく所存です。なにとぞ本年もよろしくお願ひ申し上げます。



株式会社門前クリーンパーク  
代表取締役社長

**三本 守**

**地域の皆さんとの交流を深めました!!**

**白米千枚田で  
実りの秋を満喫!**

9月21日に行われた稲刈りに、門前クリーンパーク三本社長夫妻をはじめ10名が参加しました。「白米千枚田オーナー制度」の一員として5月11日に田植えをした緑の千枚田は、白米千枚田愛耕会の皆様のお蔭で、見事な黄金色の千枚田に変貌しておりました。

当日の朝は、小雨でしたが、稲刈りの開始時には無事上がり、まずマイ田んぼの稲刈りを始めました。

稻刈り初心者の私達は、地元の坂本様に懇切丁寧にご指導していただきながら、ノコギリ鎌でザックザックと刈り始めました。

能登半島の名勝「白米千枚田」で昨年4束刈っては藁で縛ってから、クルリと稻穂をまわして(これが意外に難しい)藁の端を押し込んでいく。

慣れない姿勢に腰がすぐ痛くなりましたが、伸ばしながらなんとか1時間程でマイ田んぼの稲刈りを終えました。その後刈った稻束をあぜ道に運搬したり、周りの田んぼのお手伝いをしました。

地元高校生が、一列に並んで、稻束を海沿いの一番下の田んぼから、「はさ掛け」までリレーをしていました。体操服で一列に並んでの稻束リレーは実に壯觀でした。

皆で力を合わせて、実りの秋を満喫しました。稻刈り後に食べたおにぎりと豚汁は、忘がたい最高の味でした。



稲刈りの様子



参加メンバー

**Topics****門前クリーンパーク事業の現況報告会**

昨年11月15日(土)に「能登・門前ファミリーイン ビュー・サンセット」にて、門前クリーンパークの現況報告会を開催いたしました。主に旧門前町と旧富来町の皆様にご案内し、当日は約50名の方々にご参加いただきました。

報告会では、私どもが輪島市門前町大釜地区で計画している最終処分場事業の概要や、環境アセスメントで重要となる環境調査の内容等について報告いたしました。

参加者からは「産廃の受入開始時期はいつ頃か?」、「環境アセス終了後に改めて報告会を開いて欲しい」、「輪島市側のみでなく、志賀町側にも配慮して欲しい」等の声が聞かれました。



現況報告会

**産業廃棄物処理業界で初めて  
「エコ・ファーストの約束」を宣言!!**

当社の親会社である(株)タケエイは、産業廃棄物処理業界における第1号として、昨年11月11日に、斎藤鉄夫環境大臣へ「エコ・ファーストの約束」を宣言いたしました。

「エコ・ファースト制度」とは、昨年4月に環境省が創設しました制度で、「業界のトップランナーとして選定された企業が、環境保全に関する行動を更に促進していくこと」を目的としています。

これにより(株)タケエイは、「エコ・ファーストマーク」の使用が認められるとともに、環境ソリューションの取組みを一層強化してまいります。

「エコ・ファーストの約束」セレモニーにて  
斎藤環境大臣(左)と三本社長(右)

宣言書

**見学会開催報告****南志見地区区長及び各種団体の研修会**

昨年8月22～23日、輪島市南志見地区の区長及び各種団体の研修会で、関連施設を見学いただきました。

当日は、20名の皆様方にご参加いただき、「エコフロンティアかさま／管理型最終処分場（茨城県笠間市）」と（株）タケエイが建設中

の「成田処分場／安定型最終処分場（千葉県成田市）」、運営中の「大木戸処分場／安定型最終処分場（千葉県千葉市）」、「川崎リサイクルセンター（神奈川県川崎市）」の4施設を見学いただきました。

**施設見学を終えて**

中小田 定幸様（輪島市南志見地区区長会長）



中小田 定幸様

輪島市南志見地区では、区長会が中心となり、南志見地区的各種団体が年間事業として地域活性化と環境問題などについて、研修視察を行っています。

平成20年度は、輪島市内で産業廃棄物処分場建設設計画に取組んでいる（株）門前クリーンパークの関連施設を選定し、8月22～23日の2日間の日程で管理型最終処分場と資源循環型施設を20名の参加者で視察しました。



「川崎リサイクルセンター」での研修

1日目は、茨城県のエコフロンティアかさまを視察。施設（機械、器具等）は、コンピューター制御され、一言では表せないほど高度な施設に、私は今までの施設では考えられないほど安全性の高い施設であると思いました。

2日目に、（株）タケエイの大木戸処分場を視察しました。隣接地では、住宅が建設され、ゴボウ、サツマイモ、葉菜類等が立派に栽培されていました。処分場の埋立ては完了に近く、埋立後には元通り畠地に戻す計画で、地域との調和が図られていました。

特に感心したことは、処分場へ搬入するトラックの速度制限や交通監視員により、常に安全・安心に努めていることでした。

さらに、地元住民より、付近の竹林への処分場増設を要望されるほど、地元の信頼を得ていました。

（株）タケエイの川崎リサイクルセンターでは、広い施設内をバスに乗車しながら、施設の稼働状況の説明を受けました。搬入トラックのチェックやその搬入された廃棄物の分別工程を



「大木戸処分場」埋立後の跡地計画を説明

視察。鉄類、コンクリート、木材、紙等と色々に細かく分別し、梱包し、再資源化していました。これらの作業もセンターでコンピューター制御、監視されています。工場見学の後、三本守社長より工場でリサイクルされた製品サンプルの説明を受け、また社長本人が、産業廃棄物業一筋に過ごし、リサイクル工場の機械改良、設計までも行ってきたと聞き、ますます信用できると感じました。

2日間の視察を通して、安全と安心を確認できた有意義な研修でした。

**2009年カレンダー  
プレゼント!**

ご希望の方に門前クリーンパーク  
カレンダーを差し上げます。  
右記連絡先までお申ください。



日本風景写真家の第一線で活躍する前田晃氏が撮影した、ハイクオリティの写真集「四季の情景」を紹介しています。

**お問い合わせ**

**株式会社門前クリーンパーク 開発準備事務所**  
〒927-2342 石川県輪島市門前町剣地口1番地

**TEL.&FAX. 0768-45-1820**

皆様のご意見・ご感想をお寄せください。

